茅野市社会福祉協議会情報紙



Vol.79 2010年 5月号



ふみだそう、福祉でまちづくり



ちの地区は、行政区単位で取り組んでいます。

不を思いやる人は少ない。

目分の住んでいる地域をよりよく知る 事」「ふるさと・歴史」など、まずは

「自然・環境・農業」「伝統文化や行

地域福祉行動計画を開いて見ると

土台作りに目を向けている。更に

「お互いさま・支え合い」「おもいや

花は一輪一輪、形や色合い、大きさ 「よいさっ、よいさっ」の行動が望

咲きそうだ。

を置いているので、福祉の笑顔の花が を大切にする「人の和」づくりに重き 拶・安心安全」と、人と人との関わり り・やさしさ」「ぬくもり・絆」「挨

るで〜協力一致で〜お願いだア〜」 計画」は地域の信用、信頼の絆が大切 香りに違いがある。 私達も十 お互いの支えあいの「地域福祉行動 いいや~福祉の笑顔の花を咲かせ 人十色。

花が咲くよう個性豊かに表紙を飾って 地域福祉行動計画が、 福祉の笑顔の

暑さ、冬の厳しい寒さに耐え忍ぶ桜の りはどうか、ましてや枝の張り具合 め称える人は多い。しかし、幹や枝振 工壌の様子に関心を持つたり、真夏の 「美しい・綺麗」と桜の美しい姿を褒 桜花爛漫に咲く桜の花を見上げて



誰もが安心して暮らせるまちを目指して

~ふみだそう! ひとりひとりの小さな一歩~

平成21年4月に完成したモデル地区の宮川をかわきりに、市内9地区(ちの地区は行政区ごとの取り組 み)でも「地域福祉行動計画」がまとめられました。

この計画は、それぞれの地区内の団体や組織、そして地域住民一人ひとりにとって「誰もが尊重され安 心して暮らすために、何を大切にして何をしていったらいいか」の指針となるものです。

「地域福祉行動計画」は、より身近な地域を基盤としています。地域に暮らす人たちが、日常生活の中 で感じている課題を出し合い、地域の将来像(目標)に向かってどう行動していったらいいのか、みんな で考えつくられたものです。

計画ができるまで

各地区で計画の策定主体は異なりますが、その過程に おいては、住民や各種団体へのアンケートや聞き取り調 査、研修会やワークショップ、住民懇談会などを重ねて きました。

このことは、地域の実情に合わせることはもちろんで すが、「一人でも多くの人が計画作りに関わる機会」と なったり「自分たちの地域の声を自分達で集めることに よって、改めて地域の現状を知る機会しにもなりました。

アンケートの結果から(抜粋) 身近で困っていること? 湖東のいいところは? その他15 地域の将来はどうなって欲しい? 地域のためにしていること? 9022713% 商業(8)(6)13% 湖東地区高齡化率 ※ 高齢化率は65億以上の方を人口で割りかえしています(単位5

一湖東地区におけるアンケート調査一

計画の完成とこれから

このように策定が進められた行動計画は、各戸に配布 され、地区ごとに完成報告会などを通じて地域住民に内 容の説明を行っています。

行政区ごとの説明会

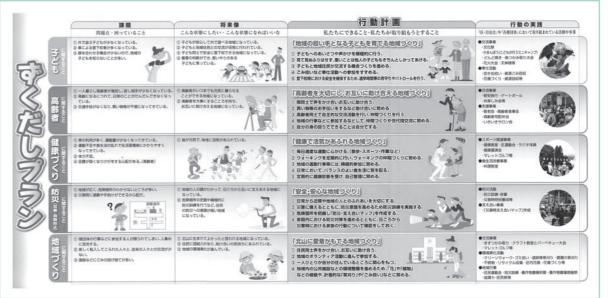
豊平地区では、行動計画策定総会を開き承認をいた だいた後、各行政区の総会の中で更に説明会を開いて いきました。

計画は、区単位でつくられていますが、身近な地域 の課題については、行政区・自治会単位で、できると ころから実践していくことが基本となります。



とかく配っただけでは、印刷物が手元に来ても内容まで、しっかり読んでもらえないことが 多いため、多くの人に内容を理解していただき「絵に描いた餅」にならないことを目指して います。

各地区の具体的な取組みについては、見やすさ、わかりやすさの工夫もされています。





課題→将来像→私たちにできること・取り組もうとすること(北山地区)



行動目標→一人ひとりの行動→団体での行動(米沢地区)

玉川地区·地域福祉行動計画 「玉川きずなプラン」ができあがりました! 平成21年5月に市の地域福祉行動計画策定の設明を受けて、各区で住民アン ケートやワークショップを実施していただきました。各区のみなさんから寄せ ていただいた運動を機変と挙ぎる8年以来等り扱いできた場場活動をもとに正 川地区地域行動計画「玉川さずなブラン」ができめがりました。 無域福祉行動計画とは? 平成21年市の要請を受けて各地区ごとに関定をしてきました。これから5 間 (平成22~27年) の地域福祉活動の指針となるものです。 玉川地区地域福祉行動計画は? 「地域や人の幹を大切にした安心して暮らせる王川」を基本理念に目標にむ て団体同士が協力したり、住民一人ひとりが行動するさっかけとしていただ ことを目的としています。 計画はどうして必要なの? 評価によりしく必要とので 関係の3の等級は、1つして豊かではなかったけれど、どこかほのぼのとした家 族や地域の「神」がありました。「福祉」を声楽に置かなくても扱ったときには 声をかけ、近隣時上が支えあって暮らずことが思たりました。ことした。 人への考え方を出えタイルの変とがは、こうした。 「神」は毎様になってき たといわれています。それを後の屋すために、一今、「後漢今何に地域に暮らず 寄授士が支えか」が展出されています。 「支え合う」ことが思たりのだった時代と違い、今は、住民一人ひとりが「福 らなの意味と響きたる場所でくり、今年表、行動することが求められています。 計様は、自分たちのできることから行動を起こす指針として第定しています。 区では誰が中心となって、何から始めるの? 基本的には福祉推進委員が旗振り役となり、区長、民生児最委員、高齢者ク ブ、子ども育成会、ボランティアなど各種団体と区の課題を協議し、出来る 私たちは何をするの? 地域の行事には積極的に参加しよう 地域の役を報まれたらできるだけ協力しよう 行動計画は私たち一人ひといか推進者です

行動目標の冊子に説明文を添付 (玉川地区)

「誰が何をするか」から「私たちに何ができるのか」

完成した各地区の行動計画に共通するキーワードとして「あいさつ・声かけ」があります。 一見すると当たり前のことだと思いますが、このことについては、どこの地域でも必要と 感じている人が多いのです。行動計画では、当たり前に思えることを一人一人が意識して行 動してみようと提案しています。

それぞれの地区の目標に向かって、「私たちに何ができるのか」を考え、自分たちの小さ な一歩を踏み出して行きましょう。

平成22年度、茅野市社会福祉協議会の事業と予算

今年度、茅野市社会福祉協議会では、社協情報紙「やらざあ」、ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」などで福祉の情報をお伝えしながら、市民一人ひとりを大切に総合的な地域福祉の推進を目指して下記の事業に取り組みます。



予算総額 333,069千円



福祉を支えるための

総合支援・応援体制づくりを推進します

社協体制の充実や、課題解決のために総合的に支援、応援 できる体制づくりを行います。

(31,895千円)

- ・行政機関、福祉関係団体等との連携強化
- ・理事会・評議員会の開催
- ・社協会費の加入促進
- 社会福祉大会の開催
- ・社協の総合的な防災マニュアルの策定
- ・社協強化発展計画の策定
- ・社協情報紙「やらざあ」の発行
- ・社協のPRの充実
- ・総合相談(心配ごと相談、結婚相談、司法書士の 法律相談、あなたと家族の悩み相談)
- ・低所得者世帯等への生活福祉資金・暮らしのつなぎ資金の貸付

など

ボランティア・市民活動(市民力)を 推進、支援していきます

子どもから大人まで福祉の心を育む機会づくりや、ボランティア活動者の応援・支援、情報発信などを行います。

(17,167千円)

- ・地域・学校などでの福祉講座・福祉教室の開催
- ・ボランティア・市民活動の推進、支援、ネットワーク作り
- ・地域のボランティアグループ活動や地区への支援 や協働
- ・ボランティア・市民団体等との連携、協働
- ・災害救援ボランティアセンター機能の充実
- ・いきいきサロン活動推進
- ・ボランティア・市民活動センター情報紙 「たまご」 の発行 など



みなさんの地域づくりを応援します

子どもから高齢者まで全ての人が安心して暮らせる地域づくりの支援を行います。

(68,732千円)

- ・個別訪問支援・応援活動
- ・地区社協・福祉推進委員の活動支援
- ・買い物や見守りなどのニーズを把握し、支援できる体制作りの推進
- ・地域活動支援センター「あすなろセンター」の運営
- ・ホームヘルパー2級養成講座の開催
- ・共同募金の各地区の団体助成、高齢者・障害者・ 児童青少年・住民全般の福祉活動への助成

など

一人ひとりを支え、応援します

住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう一人ひとりにあっ た支援を行います。

(33.890千円)

- ・移送サービス
- ・「おたっしゃ弁当」配食サービス
- ・独り暮らし安心コール(電話による定期的な安否確認)
- ・シャララ・ほっとサービス(社協会員同士の生活 支援サービス)
- ・日常生活自立支援事業の推進(判断能力が不十分 な方の福祉サービス利用援助・金銭管理・書類 預かり支援)
- ・介護予防通所事業 (塩つぼの湯デイサービス)
- ・家庭介護者の"いこいの集い"の開催

など

"心のこもった"介護サービスを 提供します

高齢者や障害者の自立支援のために、より良いサービスが 提供できるよう資質向上に努めていきます。

(181,385千円)

- ·居宅介護支援·介護予防支援事業
- ・訪問介護・介護予防訪問介護事業(2ヵ所)
- ・通所介護事業・介護予防通所介護事業 (西部デイサービスセンター)



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください

毎週金曜日 午前9時~正午

相談員:心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。 (カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓□

毎月第1・3土曜日

午後1時~午後4時

第2.4金曜日

午後6時30分~午後8時30分

相談員:結婚相談員

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時~午後5時

相談員:司法書士 予約電話/73-4431

あなたと家族の悩み相談 ~家族のサポートライン~

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方 ご相談ください

毎月第1·3月曜日 午後2時~午後4時

相談員:ボランティア 直通電話/82-0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時30分 電話/73-4431 FAX/73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 ぐ よ *** ま Vol.79 2010年 5月号

2010年5月1日

発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集/やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266)73-4431 FAX (0266)73-8030

URL: http://sharara.or.jp

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・金田和尚のつぶやき、私はその都度読み続け、成る程 と納得しています。

(89歳 男性 玉川)

- (編) 卒寿前の読者からの声に、編集員一同感激しています。
- ・2月に美容室イッピーさんヘチャリティーカットに行ってきました。カット代が社協の方へ寄付されるというので、こういう形で役に立てたなら嬉しいです。また、来年もチャリティーカットに行きたいです。

(60代 女性 宮川)

- (編) 福祉への関わり方もいろいろありますね。
- ・母が長年、祖母の介護をしていましたが、施設の方々 にお世話になり、支えられました。

(30代 女性 玉川)

(編) 地域の中でも「支えあい」が広がるといいですね。

今回も 御 柱 祭

このやらざあが皆さんのお手元に届くころには、上社の里 曳きも終わっています。

そこで、各地域がどの柱を担当したかおさらいクイズです。 番号とイロハを組み合わせてください。

① 本宮一 イ 金澤・富士見

② 前宮一 □ 原·泉野

③ 本宮二 ハ 北山・米澤・湖東

④ 前宮二 二 豊平·玉川

⑤ 本宮三 ホ 湖南·中洲

⑥ 前宮三 へ 四賀・豊田

⑦ 本宮四 ト 落合・境・本郷

⑧ 前宮四 チ 宮川・ちの

応募要领

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

5月末日

前回のクイズの答え

『大』

当選者

千野けさ子さん(ちの)、杉野 樹恵さん(玉川)

山岸 綾子さん(玉川)

当選された方には図書カードをお送り

いたします。たくさんのご応募あり

がとうございました。

社協情報紙 ★よびよの発行にはみなさんの会費が使われています。